品川区立台場小学校・幼稚園　　令和８年１０月２７日（火）
台場の灯（ともしび）（校園長通信）No. ２２　校・園長　滝渕　正史

６年生「地域交流学習会」を実施しました




　10月23日（金）の1校時に、6年生は静岡県の蒲原小中学校の6年生と、「地域交流学習会」を実施しました。会場は本校体育館、内容はそれぞれの学校がある地域の紹介です。（写真はその時の様子、前半は蒲原、後半は台場の紹介をしました）

　もともとは、宿場町つながり（品川宿と蒲原宿）で、蒲原の方と本区のまちづくり協議会と縁が続いている関係で、10年程前から、蒲原の小学校6年生が修学旅行で東京を訪ねた際に「ガイドしながわ」のみなさん（本校もたくさんお世話になっています）に、蒲原の紹介を聞いてもらうという活動を続けて来たと伺っています。今回の取組は、その発展形です。先方から、ぜひ児童同士の交流をしたいというご希望をいただいたことを受け、実現させた取組です。

　6年生は、5月の東海道歴史探訪から始まった「よりよいまちづくりについて考えよう」の提案発表が今週の木曜日に迫っていますので、その内容を、提案発表の予行練習を兼ねて聞いていただきました。蒲原小中学校の6年生は、蒲原の特産品や東海道の宿場町としての蒲原のことなど、調べてきたことをいろいろ教えてくれました。前日、東京タワーの見学に行った時に、その場にいる観光客を相手に、蒲原について紹介する取り組みをしてきたという話でした。

　終わった後で6年生に感想を聞くと、「意見がもらえてよかった」「それほど緊張しないでできた」「蒲原という場所の話が聞けてよかった」などという声をきくことができました。初めて出会う同士、それこそ一期一会です。初めはぎこちなかったですが、質疑の時間が始まると、まさに「交流」という感じで、いろいろと活発な声が聞こえてきました。その場所に行くだけではなく、自分たちの話を一方的にするだけでもない、このような交流はとても意義のあるものだと思いました。いろいろな要素が絡みますので、次年度も行うことができるかどうかは、今はまだ分かりませんが、とてもよい時間だったことは間違いありません。

　6年生には、今週木曜日の提案発表会でもぜひ頑張る姿を見せてほしいと思っています。交流の時の様子を見る限りは、大丈夫だと思いました。